

校長室の窓

～ 熊本応援メッセージ ～

連日、暑い日が続いています。被災地熊本では、この暑さに加えて激しい雨のため、二次災害にも警戒が必要となっています。

平成28年4月14日21時26分、熊本県と大分県で相次いで最大震度7を観測する地震が発生しました。それから3か月、今も暑さや不自由な生活と戦いながら、多くの方が避難所暮らしをしているといいます。一方で、そうした人たちの様子が報道されることはめっきり少なくなったように思います。次第に日常を取り戻しつつあるのか、それとも他の大きな出来事にかき消されているのか、その両方なのか。でも、新聞の社会面では、今も続々と義援金が寄せられていることが小さくまとめられていました。忘れていたわけではありません。

あま市では12の小中学校で、熊本を応援するメッセージを送ることになりました。各校でメッセージを考え、投票によって一つにしぼり、それを一文字ずつ担当して、ペットボトルキャップを使ってつくるのです。決まったメッセージは「**みんなおうえんしとるばい**」です。正則小は「**え**」の担当になりました。

全校に呼びかけて、キャップを集めるところからスタートです。集まったキャップに色をつけ、児童会の役員が、放課後、一つ一つ願いを込めて、丁寧に貼り付けて完成です。

児童会役員は5・6年生です。阪神淡路の震災は、もちろん生まれる前でした。東日本の震災でさえ、できることはほとんどありませんでした。熊本の震災は、今、自分たちで被災地のためにできることが

あります。「がんばってほしいなあ。」同じ小学生の子たちへ、その弟や妹たちへ、その家族へ、そんな思いを届けたい。

たった1文字にですが、正則の子にとっては、思いを込めた1文字です。被災地熊本みなさんに、正則の子のありったけの応援を届けたいと思います。

みんな おうえん
しとるばい
平成28年7月12日 第8号 あま市立 正則小学校

熊本へ届け！この思い

